

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	観光交流施設きらめきファクトリー	施設所管課	商工観光課
指定管理者名	富田林産業文化芸術連携体		
指定期間(年度)	平成27年度 ~ 平成29年度	評価対象年度	平成 28 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	b
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	b
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	c
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	b
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	a
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b

	自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	c
個別項目	24 観光資源の開発について、計画通りの取組が実施されている。	b
	25 魅力発信事業について、計画通りの事業が実施されている。	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 地域住民や関係団体との意見交換等について、市の観光事業の中心拠点として、より幅広く意見を吸い上げ、それを活かした施設の運営に努めて下さい。	29年1月21日、寺内町事業者、商店街関係者、LLPまちかつ、じないまち文化トラスト、寺内町をまもりそだてる会などが参加する「富田林寺内町連絡協議会準備会」に参加。当施設の今後の観光事業の取り組み方について協議した。また3月3日、広域での観光サービスを実現するために、近隣5市町村の観光担当とミーティングを行った。
イ 利用者数は目標を上回っているが、利用率が目標を下回っているため、広報などPR活動を積極的に行うことで、認知度を向上させ、更なる利用促進に努めて下さい。	28年10月より、他市町村のイベント参加時には、施設案内、貸館パンフレットを持参し配布した。また、ケーブルテレビやラジオなどに出演し、PRに努めた。
ウ 当初の計画に沿って、施設の特性を活かし、アートを活用したイベント等、新たな観光資源の開発や魅力発信に努めて下さい。	28年10月より、各催事の主担当者を決定し、計画書通りに進行管理できる体制を組んだ。毎月定例のワークショップ型催事と、「南河内ワイン展」、「だんじり彫物展」にて、創造性とアート性に加味した催事を行った。また、「南河内ワイン展」、「だんじり彫物展」は、観光資源を違う視線から捉え、新たな魅力を発信する催事となった。

⑤評価者コメント

指定管理2年目を終了し、概ね年度計画に沿った取り組みを推進したものと判断できます。施設の管理に関しては、27年度と比較し、さらに安全面や防災面を考慮し、訓練や施設管理に取り組んでおります。また、観光資源の開発や魅力発信事業については、地元資源の「だんじり彫刻」を行い、多くの来館者を集客したことに対して評価できるものと考えますが、今年度さらに多くの方に来ていただけるように、未実施事業の取り組みと、より効果的な事業を実施し、市の魅力を内外にPRできるように取り組んでいきたいと考えます。

[参考]	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	—	—	22,517	22,517	22,311	22,311
利用料金	—	—	304	195	304	247

[人]	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	—	—	11,700	28,740	28,800

[%]	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	—	—	35.4	20.3	30.3

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市民プール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	オーエンスグループ共同事業体		
指定期間(年度)	平成27年度 ~ 平成29年度	評価対象年度	平成 28 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課	
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	d	d
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	c	c
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	a	a
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	a	a
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

	自己	担当課	
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	利用者・各種関係団体と積極的な意見交換を行うなど、施設やサービスの改善点等、より一層の利用者ニーズの把握に努めて頂きたい。	指定管理者より提出された改善計画は下記のとおりです。(平成29年度実施予定) 利用者ニーズの把握については、28年度から実施している「ひとことカード」の他、従業員による意見・要望の把握を引き続き行い、また利用者の意見要望を施設ホームページや施設内に掲示することで利用者に理解を深めて頂きます。
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

2年目のオープンであったが、リニューアルしたばかりの昨年度よりもさらに利用者数が向上しており、市民の期待に応えることができていると考える。安全面・防犯面においても昨年度同様、しっかりとした体制が整えられており、大きな事故や苦情・トラブルもなかった。また、「流れるプールをつくろう！」や水泳教室など、利用者から好評な自主事業を積極的に展開しており、利用者からの評価、ひいては利用者数の向上につながったものとする。引き続き、市民に愛される施設づくりを協力連携して取り組んでいきたい。

[参考]	【千円】					
	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	-	-	17,282	17,282	17,282	17,668
利用料金	-	-	1,270	2,186	1,325	2,415

	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	-	-	12,000	18,581	12600	21,326

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	-	-	100	155	100	169

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市立スポーツ施設	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	ミズノグループ		
指定期間(年度)	平成27年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 28 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課	
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	a
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	a
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	b	b
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	a
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

	自己	担当課	
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 自主事業の実施は通常の施設利用を妨げることのないよう十分に調整されたい。また、その内容についてはできる限り団体の要望・反映に努められたい。その際、個別団体だけではなく、上部団体とも協議・報告を行って頂きたい。	体育協会等の施設利用団体と協議・調整を行い、利用者の通常利用の妨げとならない自主事業の実施をしており、十分な改善ができていますと評価できる。
イ 利用率が低い施設については、他市の類似施設との比較分析を行うなど、利用促進を検討してください。	施設の利用状況および空き状況を体育館内に掲示するなどして、石川グラウンドや錦織多目的グラウンドなどがわずかではあるが利用率が向上しており、一定の評価ができる。今後の更なる促進策に期待する。
ウ	

⑤評価者コメント

初年度であった27年度の運営状況を考慮しながら28年度の運営方針を検討し、体育協会や利用団体と運営に関する協議を実施するなど、利用者本位の事業展開を行った点が非常に評価できる。また、事務室のレイアウトを一部変更し、今まで窓口を向いていなかった事務机を2つ窓口に向けるなど、より利用者の事を考えた施設づくりもしており、今後も更なる利用者サービスの向上を期待する。

【千円】

[参考]	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	-	-	65,900	65,900	65,900	65,900
利用料金	-	-	12,000	12,540	12,500	13,521

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	-	-	815,350	717,180	767,485	813,016

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	-	-	40.6	36.0	39.2	36.6